

2008年8月12日

会 員 各 位

日本マイコトキシン学会  
会 長 一 戸 正 勝

## 日本マイコトキシン学会第64回学術講演会プログラム

第64回学術講演会のプログラムをご案内申し上げます。

日 時：2008年8月29日（金）9時30分～17時

（受付：8時45分開始、ランチョンセミナー：60人分受付にて先着順）

会 場：名古屋市立大学薬学部 薬友会館（名古屋市瑞穂区田辺通3-1）

\*注：薬学部では電話を取り次ぎませんので、連絡等は世話人中島まで

交 通：名古屋駅から地下鉄桜通線（野並行）- 瑞穂区役所駅（約17分）、東へ徒歩約15分  
（アクセスをご参照下さい）

### プログラム

9:30 - 9:35 開会あいさつ 安井広明（名古屋市健康福祉局 参事）

9:35 - 11:05 一般講演

座長：杉浦 義紹（神戸市環境保健研究所）

1) 精油に含まれるデオキシニバレノール生産阻害物質

露木利枝、矢口篤、吉成知也、高橋治男<sup>1</sup>、中島隆<sup>2</sup>、小西良子<sup>3</sup>、長澤寛道、作田庄平  
（東大院農生科、1 千葉県衛研、2 九州沖縄農研、3 国立衛研）

2) アフラトキシン生産阻害物質ブラストサイジン A の酵母を用いた作用機構解析

吉成知也、野田陽一、依田幸司、長澤寛道、作田庄平（東大院農生科）

座長：久米田裕子（大阪府立公衆衛生研究所）

3) イネ着生フザリウム属糸状菌のフモニシン産生性の解析

久城真代、川崎友美、中川博之、長嶋等（（独）農研機構・食品総合研究所）

4) *Penicillium expansum* による加害のリンゴの品種・収穫期による差異

東原圭亮、三枝曜介、板東誠治<sup>1</sup>、川本幸恵、宮川浩美、後藤哲久（信州大農、1（財）日本食品分析センター）

座長：田端節子（東京都健康安全研究センター）

5) わが国に流通している国産小麦由来食パン等における DON および NIV の減衰に関する研究

杉山圭一・斉藤史朗<sup>1</sup>、佐藤敏彦<sup>2</sup>、鎌田洋一、田中宏輝<sup>3</sup>、田中敏嗣<sup>4</sup>、小西良子  
（国立衛研、1 東京大、2 北里大、3 サントリー（株）、4 神戸市環保研）

6) オクラトキシン用イムノアフィニティーカラムの開発

内ヶ島美岐子、近藤美香、山口（村上）友貴絵<sup>1</sup>、三宅司郎、成田宏史<sup>1</sup>、中島正博<sup>2</sup>  
（（株）堀場製作所、1 京都女子大、2 名古屋市衛研）

11:05 - 11:15 休憩

11:15 - 12:15 一般講演

座長：後藤 哲久（信州大学）

7) LC/MS/MS によるアフラトキシンとベンゾ[a]ピレンの同時分析

中川博之、佐合由紀、久城真代、長嶋等（（独）農研機構・食品総合研究所）

8) LC/TOF-MS 及び LC-MS/MS を用いた真菌中の大環状トリコテセン類及びグリオトキシンの分析

滝埜昌彦、亀井克彦<sup>1</sup>、落合恵理<sup>1</sup>、小西良子<sup>2</sup>（アジレント・テクノロジー(株)、<sup>2</sup>千葉大真菌医学研究センター、<sup>3</sup>国立衛研）

座長：宮崎 茂（動物衛生研究所）

9) The effect of oral administration of curcumin on AFB<sub>1</sub> metabolism and its acute toxicity in rats.

S. Poapolathep<sup>1</sup>, A. Poapolathep<sup>1,2</sup>, Y. Sugita-Konishi<sup>3</sup>, K. Machii<sup>3</sup>, S. Kumagai<sup>1</sup>

（1 University of Tokyo, 2 Kasetsart University, 3 National Institute of Health Sciences）

10) Effect of naringenin on dispositions of deoxynivalenol in pigs.

A. Poapolathep<sup>1</sup>, S. Poapolathep<sup>2</sup>, Y. Sugita-Konishi<sup>3</sup>, K. Machii<sup>3</sup>, Y. Itoh<sup>3</sup>, S. Kumagai<sup>2</sup>

（1 Kasetsart University, 2 University of Tokyo, 3 National Institute of Health Sciences）

12:15 - 13:30 昼食（ランチョンセミナー）

13:30 - 14:30 特別講演

座長：作田庄平（東京大学大学院）

「微生物フェロモンの化学」

名古屋大学大学院生命農学研究科 教授 坂神 洋次

14:30 - 15:30 特別講演

座長：北川 章（中京女子大）

「真菌性キノン色素とミトコンドリア毒性」

中京女子大学健康科学部栄養科学科 教授 河合 清

15:30 - 15:40 休憩

15:40 - 17:00 シンポジウム「日本における食の安全と国際貢献」

座長：一戸正勝（東京家政大学）、高橋治男（千葉県衛生研究所）

(1) 「JICA マイコトキシン技術研修 20 年の歩み」 愛媛大学 芳澤 宅實

(2) 「食の安全と国際研究協力」 東京大学大学院 熊谷 進

(3) 「FAO/WHO 食品添加物合同専門家会議（JECFA）でのマイコトキシン規制への役割」

国立医薬品食品衛生研究所 小西 良子

(4) 「マレーシアにおける食品安全に係る技術協力」大阪検疫所 塚本 郁夫

(5) 総合討論

17:30 - 19:30 懇親会

会場：名古屋市立大学薬学部食堂

## 第10回日本マイコトキシソ学会技術セミナー

「イムノアフィニティーカラムを用いたマイコトキシソ分析の留意点」

平成20年7月28日付食安監発第0728003号にて通知されました、アフラトキシソ B<sub>1</sub> 試験法におけるイムノアフィニティーカラム (IAC) 法の留意点について、講義および簡単な実習を行うとともに、オクラトキシソ A 分析における IAC 法の留意点についても述べます (参加受付終了)。

日時：2008年8月28日 (木) 14:00 ~ 17:00 (受付 13:30 より、受付にて参加費をお支払い下さい)

会場：名古屋市衛生研究所 2階 第一共同研究室

交通：下記をご参照下さい (市立大学薬学部の山崎川をはさんで西側)

### <アクセス>

名古屋駅から：地下鉄桜通線名古屋駅 (野並行) - 瑞穂区役所駅 (約17分)、1番出口から徒歩・バス  
徒歩：東へ徒歩で約15分

市バス：2番のりば 金山14 瑞穂運動場東行 - 市大薬学部 下車 (約4分)、徒歩1分

金山駅から：市バス7番のりば 金山16 瑞穂運動場東行 - 市大薬学部 下車 (約25分)、徒歩1分

市バス8番のりば 金山14 瑞穂運動場東行 - 市大薬学部 下車 (約25分)、徒歩1分



\*注：名古屋市立大学薬学部、名古屋市衛生研究所共に敷地内禁煙です。喫煙される方は、携帯灰皿をご持参の上、敷地外でお願い致します。

(連絡先)

名古屋市衛生研究所 食品部 中島 正博

〒467-8615 名古屋市瑞穂区萩山町 1-11

TEL：052-841-1511

FAX：052-841-1514

E-mail：nakaphd@aqua.ocn.ne.jp